

- 問1 奈良の平城京にある東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺愛品などが数多く納められています。その中にある「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」などの工芸品は、中央アジアや西アジアの影響を受けた国際色豊かなデザインが特徴です。これらの文物が唐の都である長安を経て日本へ伝わる際に通った、中国と西方を結ぶ陸上の交易路を何と呼びますか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
1. シルクロード（絹の道） 2. 茶馬古道 3. 海の道（香辛料の道） 4. ステップの道（草原の道）
- 問2 1202年にイタリアのヴェネチアを出発し、ローマやコンスタンティノープルといった都市を経由してエルサレム方面へ向かった十字軍の遠征路に見られるように、この時代の出来事が都市の発展に及ぼした影響について述べた文として正しいものを選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）
1. 遠征路となった都市はすべて戦火によって破壊され、それまで維持されていた地中海の都市ネットワークは消滅した。 2. 遠征の輸送や兵站を担ったイタリアの諸都市が、地中海貿易の主導権を握ることで商業的に大きく繁栄した。 3. コンスタンティノープルが遠征軍の拠点となったことで、東ローマ帝国は軍事力を増強し、イスラム勢力をアジアから一掃した。 4. ヴェネチアなどの都市は、宗教的な目的を優先して商業活動をすべて停止したため、市民の生活は困窮した。
- 問3 中国の漢の時代に整備された、中国と西アジアや地中海沿岸地域を結ぶ交通路を何と呼びますか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
1. 御成道 2. 万里の長城 3. 海の道 4. シルクロード
- 問4 中国の遺跡から出土した、白く平らな骨の表面に、直線で構成された細かな記号が多数刻まれている資料があります。この資料が作成された背景や特徴について述べた文として、正しいものはどれか次の中から選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 周の時代に、役人が広大な領土を管理するための法律を粘土板に刻んだ。 2. 漢の時代に、シルクロードを通じて伝わった西方文明の文字を模写した。 3. 秦の始皇帝が、全国で異なる文字が使われないよう、竹簡に統一した文字を記した。 4. 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。
- 問5 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけにより、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪還することを目的に組織された軍隊を何といえますか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 異端審問 2. 宗教改革 3. ルネサンス 4. 十字軍
- 問6 11世紀末から始まった聖地エルサレムの奪還を目指す十字軍の遠征が、その後のヨーロッパ社会に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）
1. 聖地の奪還に完全に成功したことで、ローマ教皇の権威が絶頂に達し、イスラム勢力は地中海から完全に駆逐された。 2. エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。 3. イスラム教の教えがヨーロッパ全土に浸透した結果、キリスト教に基づいた中世の封建社会が崩壊し、新しい宗教国家が誕生した。 4. 遠征による戦乱が続いたことで地中海貿易は完全に途絶え、ヨーロッパの都市は経済的に衰退して自給自足の生活に戻った。
- 問7 インダス文明の遺跡からは、動物などの図案とともに文字が刻まれた石造りの印章が多数発見されています。この文明で用いられた文字や、その背景について述べた文として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. パピルスにヒエログリフで記され、王の事績や神話が記録されていた 2. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、占いを通じて政治の判断に用いられた 3. 粘土板に楔形文字が刻まれ、周辺地域との交易の記録として使われた 4. 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない
- 問8 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）
1. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。 2. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。 3. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。 4. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。
- 問9 アフリカ大陸北東部を流れるナイル川の流域で栄えた文明において、使用された文字と発達した暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 楔形文字 — 太陽暦 2. 楔形文字 — 60進法 3. 象形文字（ヒエログリフ） — 太陰暦 4. 象形文字（ヒエログリフ） — 太陽暦
- 問10 古代文明で使われた文字の記録方法について、メソポタミア文明における特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. パピルスという植物から作られた紙のようなものに、インクを用いて書き残した。 2. 石碑や神殿の壁面に、王の業績を称えるために具象的な絵を用いた文字を彫った。 3. 亀の甲羅や動物の骨に、鋭利な道具で占いの結果などを刻み込んだ。 4. 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。
- 問11 西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で発達し、現在のイラク付近に位置した古代文明において、粘土板に刻んで使われていた文字と、月の満ち欠けに基づいた暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）
1. くさび形文字と太陽暦 2. 象形文字と太陰暦 3. 象形文字と太陽暦 4. くさび形文字と太陰暦
- 問12 日本の歴史における各時代の特徴と資料の記述として、内容が誤っているものはどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
1. 古墳時代には、有力者の墓の周囲に、家や馬、人物などをかたどった素焼きの土器である埴輪が置かれた。 2. 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鑄造された。 3. 弥生時代には、大陸から金属器が伝わり、銅鐸などの青銅器が主に祭りの道具として用いられた。 4. 旧石器時代には、ナウマンゾウなどを狩るために、石を打ち砕いて作られた打製石器が使用された。
- 問13 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはらん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦 2. 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字 3. 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦 4. 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シルクロード（絹の道）	古代、中国（漢や唐の時代）と中央アジア、西アジアを結んだ陸上の交易路は「シルクロード（絹の道）」と呼ばれます。奈良時代の日本は遣唐使を通じて唐の文化を積極的に取り入れました。当時の唐は国際色が非常に強く、シルクロードを通じてもたらされた西方の楽器や装飾技術が日本にも伝来しました。その宝物が今も正倉院に保管されており、日本はシルクロードの東の終着点とも称されます。
問2	答え 2 遠征の輸送や兵站を担ったイタリアの諸都市が、地中海貿易の主導権を握ることで商業的に大きく繁栄した。	十字軍の遠征では、兵士や物資を運ぶためにヴェネチアやジェノヴァといったイタリアの海港都市が重要な役割を果たしました。これらの都市は輸送によって多額の利益を得ただけでなく、東方の物産をヨーロッパに持ち込む地中海貿易の拠点として発展し、後のルネサンスへとつながる経済的基盤を築きました。
問3	答え 4 シルクロード	漢の武帝の時代に派遣された張騫の遠征などをきっかけとして、中国の特産品である絹が西方へ運ばれたことから「絹の道」とも呼ばれます。この道を通じて、西方の文化や宗教が中国へ、そして日本へと伝わるきっかけとなりました。
問4	答え 4 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。	殷の時代は神権政治が行われており、戦争や祭祀、農作物の収穫などの重要な事柄はすべて占いによって決められていました。出土した骨に刻まれている直線的な記号は、占いという宗教的な行為を記録するための甲骨文字であり、当時の王権が宗教的な権威に基づいていたことを裏付ける貴重な史料となっています。
問5	答え 4 十字軍	聖地エルサレムの奪還を目的として、11世紀末から約200年にわたって派遣された軍事遠征の名称です。この遠征の結果、ヨーロッパの人々がイスラム世界の高度な文化に触れることとなり、その後の地中海貿易の活発化や、中世ヨーロッパ社会の変容に大きな影響を与えました。
問6	答え 2 エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。	十字軍は宗教的な情熱から始まった軍事遠征でしたが、軍事的な成功は一時的なものとどまり、最終的にエルサレムを維持することはできませんでした。しかし、この遠征によってヨーロッパ人はイスラム世界の高度な科学や学問、文化に触れることとなり、地中海を通じた香料などの東西交易が盛んになるなど、後のヨーロッパの発展に大きな影響を与えました。
問7	答え 4 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない	インダス文明の印章に刻まれた「インダス文字」は、象形文字の一種と考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在もその内容は解読されていません。選択肢にある楔形文字はメソポタミア文明、ヒエログリフはエジプト文明、甲骨文字は中国文明（殷）において使用されたものです。
問8	答え 4 ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。	紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテネやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテネでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。
問9	答え 4 象形文字（ヒエログリフ） — 太陽暦	ナイル川流域のエジプト文明では、川の定期的な氾濫時期を予測する必要から天文学が発達し、1年を365日とする太陽暦が作られました。また、神殿や墓の壁画などには象形文字（ヒエログリフ）が刻まれました。一方、楔形文字や60進法、太陰暦は、チグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミア文明の特徴です。
問10	答え 4 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。	メソポタミア文明が成立した地域では、紙の原料となる植物よりも粘土が豊富に得られたため、記録媒体として粘土板が活用されました。乾く前の柔らかい粘土に茎を押し付けて書く技法が、楔形文字特有の形を生み出しました。他の選択肢は、中国文明の甲骨文字や、エジプト文明のヒエログリフに関する記述です。
問11	答え 4 くさび形文字と太陰暦	西アジアの「肥沃な三日月地帯」で成立したメソポタミア文明は、チグリス川とユーフラテス川という2本の河川の恩恵を受けて発展しました。この文明では、乾燥させた粘土板に葦の茎などで刻む「くさび形文字」が発明され、記録や商取引に利用されました。また、天体観測により月の満ち欠けを基準とする「太陰暦」が作られ、これが後の暦の基礎となりました。ナイル川流域のエジプト文明（象形文字・太陽暦）と知識が混同されやすいため、河川の名前と文化の特徴をセットで整理することが重要です。
問12	答え 2 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鑄造された。	和同開珎が鑄造されたのは、平安時代ではなく奈良時代（708年）のことです。当時の政府は、平城京への遷都や建設の費用に充てる目的、そして貨幣を流通させることで国家の権威を示す目的でこれを発行しました。旧石器時代の打製石器、弥生時代の青銅器、古墳時代の埴輪に関する記述は、それぞれの時代の特色を正しく表しています。
問13	答え 3 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陰暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。